

中学校（英語） 現役合格

情熱的で 生徒に寄り添える 教師になりたい

旧ことばと文化学科

Y.M さん



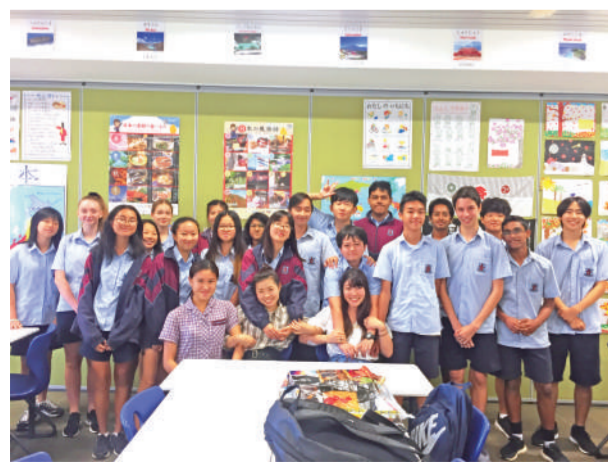
中学校の先生を目指した理由

大学で教職科目を受講し、勉強をしていくうちに教師という仕事に興味を持ちました。

そして在学中、日本語教師アシスタントとして、オーストラリアの中学校・高校に派遣され、教えることの楽しさを知りました。

土曜塾などの活動を通して出会った生徒との関わりが、中学校の先生になろうと思った決め手になりました。

なかなか打ち解けられなかった生徒が、勉強を教えるうちに心を開いてくれたことが嬉しく、生徒の気持ちに寄り添える教師になろうと決意しました。



オーストラリアの
生徒たちが
“教える楽しさ”を
教えてくれました



生徒に寄り添う
教師を目指して

採用試験を受けてみて

1次試験では、会場の雰囲気によって圧倒されました。一瞬、「だめかも…」という気持ちになりましたが、試験が始まると集中して解くことができました。

2次試験は手応えがありました。特に、英語のディスカッションは、大学でディベートの講義をとっていたので、自信を持って臨むことができました。2次試験対策として、ネイティブの先生に個人練習をしていただいたことも自信になりました。

試験を受ける前は、友人は一般企業志望のため、一人で乗り越えないといけないという気持ちでいました。しかし、教員養成センターに行くと、先生方が話を聞いてくださり、手厚くサポートしていただきました。

モチベーションが上がらないときは…

「20分だけ集中しよう」

「このページまで終わらせよう」

と決めて取り組みました



後輩へのメッセージ

大学生は色々なことに挑戦できる時間に恵まれています。興味を持ったことや教育に携わることなど、積極的にチャレンジしてみてください。

そして、経験したあとは、どういったことを頑張ったのか、どうすればもっと良かったかなど、振り返ることをお勧めします。

経験は自信に繋がり、整理することで自分の言葉で語れるようになりますよ。